

# プログラマー向け QA サイトにおける質問形式に関する研究

小瀬川博将

現代社会において、インターネットを介したコミュニケーションや情報共有は必要不可欠であり、QA サイトを利用することは一つのツールとして知られている。特に、QA サイトを用いた情報共有は、日常的に発生する困り事や疑問など様々の問題解決に有効な手段である。プログラマー向け QA サイトに Stack Overflow というサイトがある。Stack Overflow における、回答に関する方針は「回答を得ることがこのサイトの全て」、「将来その問題を検索する人のためにもなるような回答ができればベスト」と定めている。また、質問に関しては「主観性の高い質問は避ける」、「質の低い質問を避ける」と定めている。このため、Stack Overflow では、質問や回答の質を向上する不明確な質問には質問の編集またはコメントを追加できる機能が提供されている。

しかし、このような機能では質問解決までに多くの時間と労力が必要となる。また、質問の質や有用性を判定するために、利用者による投票機能も用意されている。投票の機能によってマイナスの投票がされる質問は下位となる。Stack Overflow では「良い質問の仕方を学ぶのは価値のあること」ということを目指しているが、マイナス投票が多い質問に対して、役立つ情報提供はあっても原因の提示はされていない。

本論文は、未回答質問における記述の不明確さや回答が付けられていない原因を明らかにすることを目的とする。また、利用者間にかかる時間と労力を軽減し、QA サイトをより良い問題解決の場としていくことに貢献する。このため、未回答質問における質問解析を行った。投稿される質問の多くは、動作の不具合や使い方に関する解決法を求めていることから、動作環境や不具合の症状、質問するまでに調べた状況などの情報が不可欠であると考えられる。これらの情報が十分に記述されているかを調査し、回答を得るために有効であるかを検討した。この結果、未回答質問の本文に関しては、関連する質問の URL が記載されていないことや質問文中に箇条書きや空行がないという特徴が見られた。未回答質問に対して付与されたコメントに関しては、開発環境は何かを質問文に追記させるコメントや問題に至るまでの調査の確認がされているという特徴が見られた。以上のことから、質問記事を解析して、動作環境や不具合に関する具体的な記述がなされているか、また、質問記事の書き方あるいは形式が適切であるかを判別することで、回答を得るのに有用な質問記事の書き方に対する支援が行えると期待される。

(指導教員 佐藤哲司)